

理学部の課題演習について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年7月1日）

理学部の課題演習という授業について疑問に思っていることがあるので、こちらに投稿させて頂きました。

それは、課題演習のグループ毎の授業時間の差が大きすぎるのではないかと、いう事です。

例えば、私のグループでは、夏休みに5日間(毎日朝から終電までと予告されている)実験を行います。また、その実験を元に9月末に発表をして、さらにレポートを出す事で単位を認定すると説明されています(もちろん、前期期間中もゼミと実験を行なっていますが、こちらは単位にはあまり関係ないようです)。

しかし、当然ながら夏休み前(前期期間中)に終了するグループもあります。

このように同じ課題演習という授業で同じ単位数であるのに、授業にかかる時間に大きく差がある事は大変不公平だと思います。また、このような現状は、京都大学の1単位あたりの学修時間を大幅に超過していると考えます。

そこで、前期+前期集中扱いの授業にする又は授業計画を改善するなどの措置を取っていただきたいのですが、このような場合、どこへ相談すれば適切な対応をしていただけるのでしょうか？

長文になってすみませんが、よろしく申し上げます。

【回答】（回答日：2019年8月2日）

（理学部）

貴重なご意見、ありがとうございました。

理学部の演習は各系、そして各課題ごとに取り扱う内容が多岐にわたっており、必要な時間が異なるのはある程度はやむを得ない一面があります。基本的には各教員のもとで適切な負荷になるように配慮していますが、学生と教員がコミュニケーションを取りつつ調整が必要になる場合もあります。この場合、個別の案件に対しては、各系に常駐している教務委員が学生と担当教員の間に入って相談を受けつけています。教務委員の教員へは、学部教務掛を通じて連絡を取ることも可能です。従って、まずは該当系の教務委員か理学部の教務掛に事情をご相談ください。

よろしく申し上げます。